

G. F. Haendel 作曲

Dalla Guerra amorosa

「恋の戦より」

レチタティーヴォ：

恋の戦より
心の命ずるがままに
おお 我が想いよ 逃れよ ただ逃れよ
恋に逃避するは恥ではない
ただ逃れゆき 激しき恋に囚われし魂は
勝利を勝ち得ん

アリア：

憐れみを乞う
流し目の
黒き瞳に惹かれるなかれ
弓と矢を持ち
恋の神は彼方にそっと立つであろう

レチタティーヴォ：

逃げよ そうだ 逃げよ
ああ！ どれほど毒を
恋の神が喜んで注いだことか
ああ どれほどの苦しみと悲しみを
彼に従い 彼の掟を崇めしものに与えた事か
ひとりのかんばせが おまえに恋心をおこさせたなら
気づけ ああ 我が想いよ
楽しき事もやがて消え果て 厭しきものになる事を

アリオーゾ：

美しきものは花のごとし
朝には息づきて麗しく
朝には命の盛りと咲き誇り
夕べには 萎れ枯れてゆき
色あせて花とは見えず

アリア：

逃げよ 逃げよ
囚われし恋のしもべには
よろこびは確かならず
苦しみのみ確かなり

J. S. Bach 作曲

Kantate Nr.82 BWV82

Ich habe genug

「我は満ち足りり」

アリア：

我は満ち足りり
信仰深き人たちの希望である救い主を
熱い思いのこの腕に抱きしめたのだ
我は満ち足りり！
私は彼を見た
私の信仰はイエスを心に焼きつけたのだ
私は今日にも喜んでここを去りたい

レチタティーヴォ：

我は満ち足りり
私の慰めはただ一つ
イエスが私のものになり
私がイエスのものになること
信仰が彼を私のものにする
また信仰によって私はシオンと一緒に
もうあの世の喜びをみているのだ
この人と一緒に進もうではないか！
ああ 神よ
私をこの肉体の鎖から放してください！
ああ これが私の別れなら
喜んでこの世にむかっていうであろう
我は満ち足りりと

アリア：

まどろめ 疲れはてた目よ
静かに 安らかに眠るがよい
この世よ 私はもうここには留まらない
おまえには私の魂に
役立つものは何ひとつないのだ
ここにいては不幸を重ねるばかり
だが彼所にいけば見ることができる
あまい平和 静かな安らぎを

レチタティーヴォ：

神よ！ 何時その素晴らしい“今”が来るのですか
私が安らかな気持ちで旅立ち
そして 冷ややかな土のなかで
あなたのふところで休むその“今”が
お別れだ
この世よ おやすみ

アリア：

私は死を待ちのぞんでいる
ああ 今死がやってきてくれたら
そのときこそ私が逃れることができるのだ
この世で私を悩ませてきたいっさいの苦悩から

Kantate Nr.56 BWV56

Ich will den Kreuzstab gerne tragen

我は喜んで十字架を担おう

アリア：

我は喜んで十字架を担おう
その神の尊き御手より来たり
我を苦しみに導く
神のもとに 祝福された地に
そこに我は苦しみを一挙に葬り
神はわが涙を拭って下さった

レチタティーヴォ：

浮き世での我が彷徨は
船路にもにたり：
わずらい 十字架 苦しみ
波は 次々とわれを襲い
死に
日々おびやかされる
しかし我がたよりの錨は
神の慈悲深き心
しばしば神は我に
声をかけて元気づけてくださる：
我 汝とともにあり
汝を見捨てることも 忘れることもないと
しかして荒れ狂う嵐も
過ぎ去れば
我は船を降りて我が地にあがろう
そこが目ざす天国
我は多くの信心深い友と
多くの苦難を乗り越えて行こう

アリア：

ついに ついにわが軛は
ふたたびわれより離れ去らん
そのときわれは神の力によって
驚のような力を得る
そしてこの地を飛び去らん
疲れることもなく
おお 今日にもその時の来たらんことを！

レチタティーヴォ&アリオーソ：

我はここに待つ
我が至福の心は
願いと憧れをもち
イエスの御手より授けられた
ああ 幸はいかに
安息の港を目のあたりに見たとき

そこに我は苦しみを一挙に葬り
神はわが涙を拭って下さった

コラール：

来たれ おお死よ 眠れる兄弟たちよ
来たりてわれを導き給え
わが小舟のとも綱を解きて
われを安らぎの港につれて行け！
世の人 あるいは汝を恐れようとも
喜んで迎え入れよう
汝によりてこそ我は入りゆく
こよなく美わしきイエスのみもとに

Kantate Nr.147

Herz und Mund und Tad und Leben

9.Aria(Baß)

われはイエスの奇しき御業を褒め歌おう
そしてイエスに唇の捧げ物を
彼はその愛の契りに従いて
この弱き肉と 拙き口をば
聖なる火もて力づけ 奪い立たせたまわん

10.Choral

イエスは変わりなきわが喜び
わが心を慰め潤す
イエスはすべての禍いを防ぎ
わがいのちの力
わが目の喜び 楽しむ太陽
わが魂の宝 喜び
ゆえにわれはイエスを離すまじ
この心と眼を注ぎまつりて